

チーフ・ストラテジスト
建部 和礼

2025年度通期決算サマリー

決算発表は堅調で業績への懸念は後退

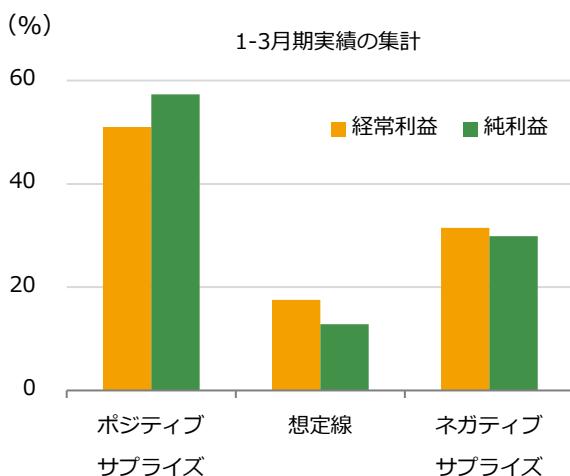
1-3月期実績は上振れ、期初ガイダンスも例年並みの慎重さにとどまる

4月下旬から5月中旬にかけて、3月期決算企業の[2025年度通期決算発表](#)が行われました。中東情勢の悪化を受けて企業業績は不透明感を増しており、原油高や供給制約がもたらす影響に注目が集まりました。また、企業が発表する新年度の会社計画（期初ガイダンス）が市場コンセンサスを下回るのは例年のことですが、例年以上に[慎重な期初ガイダンスが株式市場の重しとなるリスク](#)も警戒されていました。

蓋を開けてみると、決算発表は堅調で、株式市場の追い風となっています。3月期決算企業の1-3月期の純利益は、57%の企業が市場コンセンサスを5%以上上振れるポジティブサプライズとなり、2025年度の純利益はアナリストの事前予想を6%pt上回り前年度比+13%で着地しました。プラス寄与の大きかったソフトバンクグループを除いても、3%ptの上振れとなります。AI・半導体関連や、銀行など金融、建設など内需の一角が増益をけん引しました。一方、マイナス寄与が大きかったのは自動車・部品でした。

期初ガイダンスは、経常利益・純利益がそれぞれ市場コンセンサス比▲10%・▲5%となりましたが、過去15年の中央値である▲7%・▲6%と同程度にとどまり、懸念されたほど弱いものとはなりません。中東情勢等の前提の置き方には企業ごとのばらつきが大きいといった注意点はありますが、全体として増益ガイダンスとなったことに加え、期初ガイダンスを開示しなかった企業の比率も例年に比べて増えることはなく、市場に安心感をもたらしています。

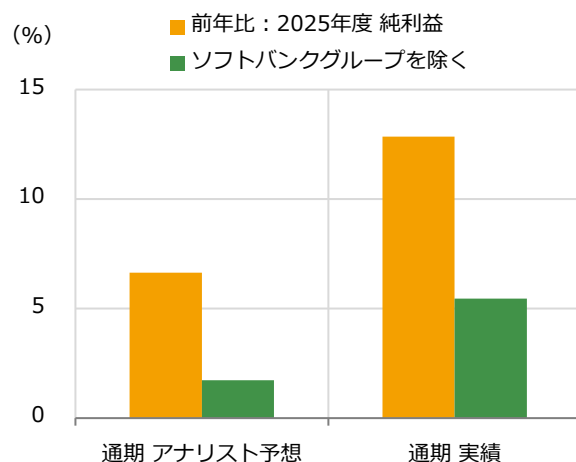
1-3月期はポジティブサプライズとなった企業が優勢



※実績がアナリスト予想と5%以上乖離した場合にサプライズとして集計、5月21日までに発表済みのTOPIX500を構成する3月期決算企業

(出所) ファクトセットより大和アセット作成

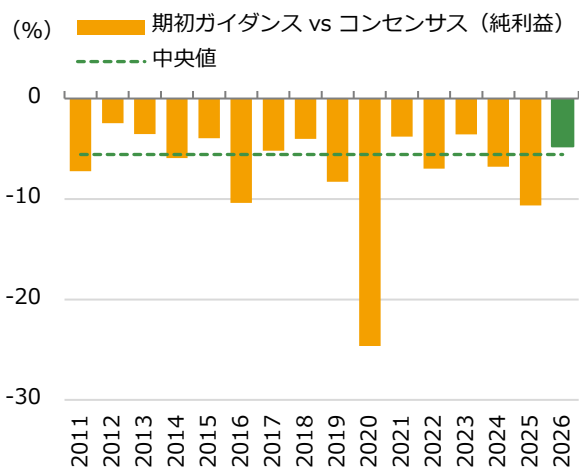
実績はアナリストの事前予想を大幅に上振れて着地



※5月21日までに発表済みのTOPIXを構成する3月期決算企業

(出所) ファクトセットより大和アセット作成

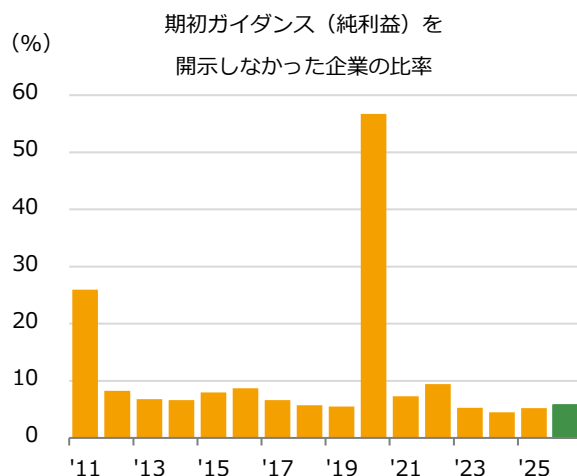
■ 期初ガイダンスの市場コンセンサス比の下振れは例年並み



※TOPIX500を構成する3月期決算企業

(出所) ファクトセットより大和アセット作成

■ 期初ガイダンスを開示しない企業は増えず



※TOPIX500を構成する3月期決算企業

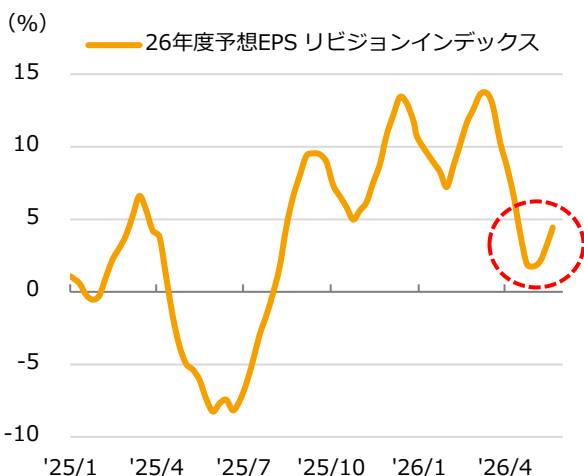
(出所) ファクトセットより大和アセット作成

リビジョンインデックスは反発も中東情勢の改善が遅ればリスク

決算発表を契機にアナリストの業績予想は下方修正が本格化すると見ていましたが、堅調な決算を受けてアナリストは業績予想を引き上げているようで、2026年度予想EPSのリビジョンインデックスは反発の兆しを見せています。業績面で強さを見せているのはAI関連です。前期・今期の増益への寄与も大きいですが、2月末の米国・イスラエルによるイラン攻撃以降も、業績予想の力強い上方修正が続いています。この業績モメンタムの強さが、日本株式市場においてAI関連に物色が集中している理由の一つでしょう。

一方で、決算は堅調であったものの、ホルムズ海峡の実質的な封鎖は続いており、情勢の改善が遅れば業績への下押し圧力が強まります。業績の下振れリスクにも引き続き警戒が必要となります。

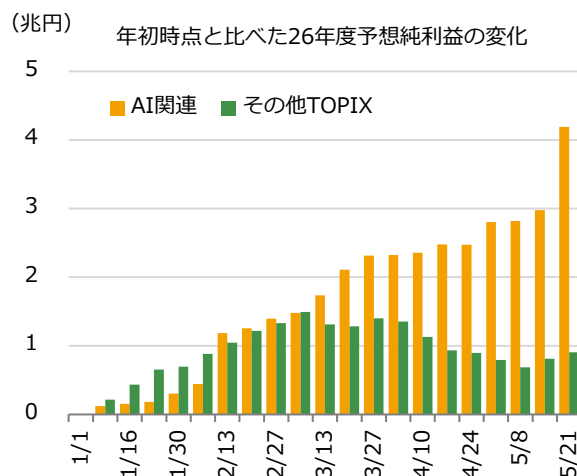
■ 堅調な決算発表を受け、リビジョンインデックスは反発に転じている



※リビジョンインデックス = (業績予想の上方修正数 - 下方修正数) ÷ 予想数、TOPIX、直近値は2026年5月21日

(出所) ファクトセットより大和アセット作成

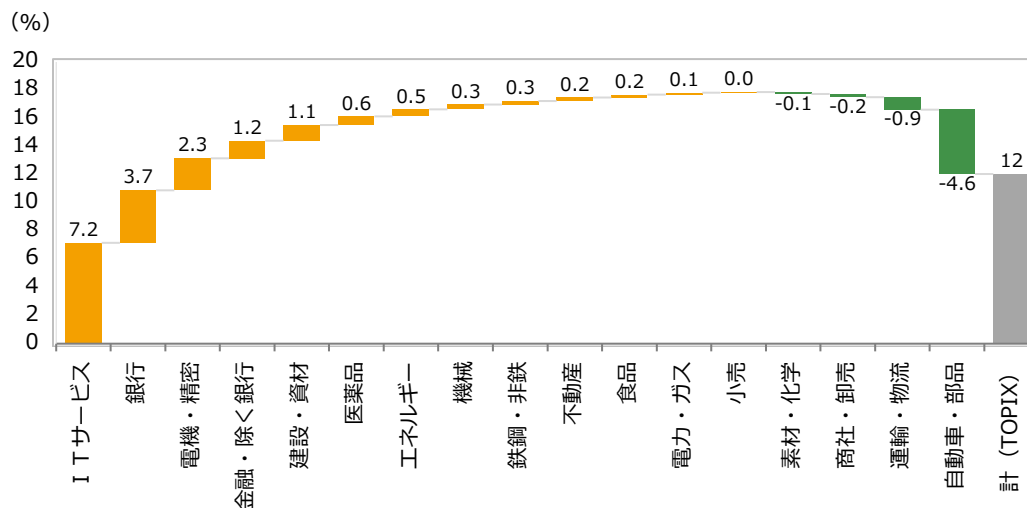
■ AI関連の業績見通しが切り上がっている



※TOPIX、直近値は2026年5月21日

(出所) ファクトセットより大和アセット作成

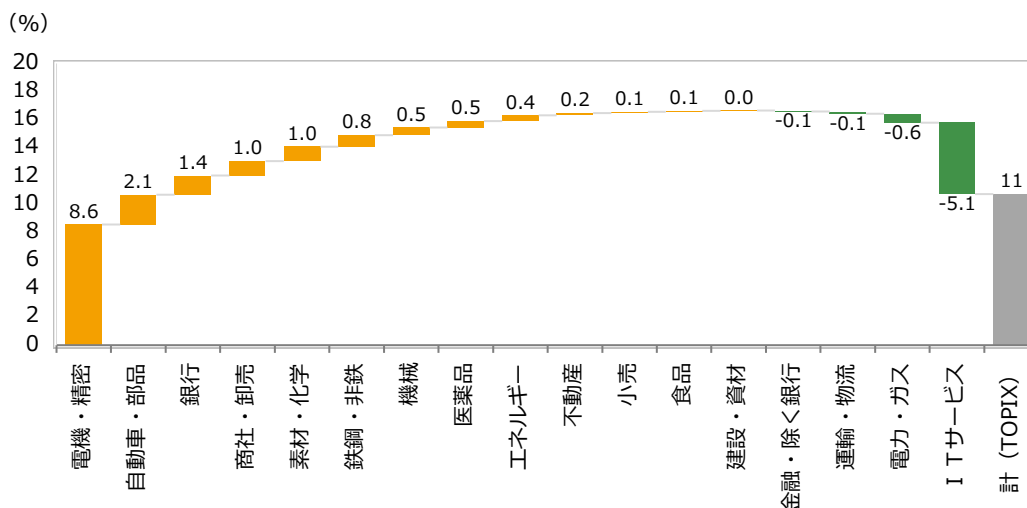
2025年度 経常利益の前年度比：セクター別寄与度



※TOPIXを構成する3月期決算企業

(出所) ファクトセットより大和アセット作成

2026年度 予想経常利益の前年度比：セクター別寄与度



※TOPIXを構成する3月期決算企業

(出所) ファクトセットより大和アセット作成

当資料のお取扱いにおけるご注意

- 当資料は投資判断の参考となる情報提供を目的として大和アセットマネジメント株式会社が作成したものであり、勧誘を目的としたものではありません。投資信託のお申込みにあたっては、販売会社よりお渡す「投資信託説明書(交付目論見書)」の内容を必ずご確認ください。
- 当資料は信頼できると考えられる情報源から作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。運用実績などの記載内容は過去の実績であり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。記載内容は資料作成時点のものであり、予告なく変更されることがあります。また、記載する指数・統計資料等の知的所有権、その他一切の権利はその発行者および許諾者に帰属します。
- 当資料の中で個別企業名が記載されている場合、それらはあくまでも参考のために掲載したものであり、各企業の推奨を目的とするものではありません。また、ファンドに今後組み入れることを、示唆・保証するものではありません。

最新のレポート掲載ページはこちら

<https://www.daiwa-am.co.jp/specialreport/countries/report/index.html>

URL <https://www.daiwa-am.co.jp/> お問い合わせ 0120-106212 (受付時間 9:00~17:00)

Daiwa Asset Management